

ワンデイアート

夏休み1日ART体験
募集締め切り7/14(金)

小・中学生対象

公益社団法人日展では、小中学生を対象に夏休みの1日、日展作家の指導のもとに作品を作るイベント、第13回『One day Art』を、7月21日(金)〜8月4日(金)まで開催する。

作品制作の内容は、工芸美術(陶芸・漆)、日本画、洋画、書、彫刻の日展の五科にわたって、子どもたちがそれぞれ実際に作品を作り、日展会館・日展新会館にて8月18日(金)〜22日(火)まで作品展を開催す

る。また昨年に続き、今年も各部門の共同制作作品は国立新美術館で開催される秋の日展の会場で発表される。

各回40名参加者募集!

第6回小・中学生とその保護者募集締め切り、7月14日(金) 必着。

工芸美術(陶芸) 7/21(金)

工芸美術(漆) 7/22(土)

日本画 7/30(日)

書 8/2(水)

洋画 8/3(木)

彫刻 8/4(金)

*日展事務局 03-8210453 3

特別展 ゴジラ展

名古屋市博物館

怪獣王の
魅力がここに

昭和29年(1954)、



大怪獣の登場する迫真の特撮、科学技術への疑問、娯楽的な要素と社会に対するメッセージ性を兼ね備えた『ゴジラ』は大ヒット映画

映画『ゴジラ』が公開され、日本全国に大反響を呼んだ。

特撮、科学技術への疑問、娯楽的な要素と社会に対する

世界と大暴れるゴジラの姿は、世代を超えて多くの人々の心に刻み込まれた。

本展では、怪獣やメカの立体造形、デザイン画やセット図面など、特撮の造形やデザインを中心に、ゴジラ映画の魅力、映画を作

り上げた人々の表現力、そしてゴジラの歩んできた時代を紹介する。

となり、「特撮映画」「怪獣映画」というジャンルが日本映画に確立された。その後、50年をこえる人気シリーズとして、多くのゴジラ映画が誕生した。

現実と空想の交錯する世界と大暴れるゴジラの姿は、世代を超えて多くの人々の心に刻み込まれた。

本展では、怪獣やメカの立体造形、デザイン画やセット図面など、特撮の造形やデザインを中心に、ゴジラ映画の魅力、映画を作

り上げた人々の表現力、そしてゴジラの歩んできた時代を紹介する。

メモ ◆7月15日(土)〜9月3日(日)

名古屋市博物館(名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27)

1) 052 853 2655 一般1300円

高大生900円 小中生500円 毎週月曜日休館

(祝日の場合は直後の平日・第4火曜日(7/18、24、25、31、8/7、21、22、28)・8月14日(月)は特別開館

岡本作礼展 一祈りの系譜

岡本作礼展

一祈りの系譜

岡本作礼氏は唐津焼の伝統技法によるうつわや壺、茶道具などを制作して、現在唐津を代表する作家の一人です。その確かな技と現

代性あふれる作品は、人気が高く東京でも数多くの作品展を開催してきた。

本展では陶歴40年になる岡本氏の作品の中から、叩き技法の痕跡を太古の洞窟の壁に見立てた壺や、般若心経を釘で彫り記した経筒

などを中心に近作6点を展示する。岡本氏は、土には太古からの鼓動があると

考え、自然の摂理への畏怖、創造への敬虔な気持ちを祈りの姿勢として作品を制作している。

メモ ◆7月7日(金)〜9月5日(火)

LIXILギャラリー(東京都中央区京橋3-6-18 東京建物京橋ビルLIXIL GINZA 2F) 03 5250 6530 観覧料無料 休館日 水曜日、8月11日(金・祝) 16日(火)、8月27日(日)

日本の歴史・文化の流れの中から論点を絞ったテーマを選んでの展示

国立歴史民俗博物館(千葉県佐倉市城内町1-17) 電話03(5777) 8600

ハローダーイタル 一般420円、高校・大学生250円、中学生以下無料 月曜日休館

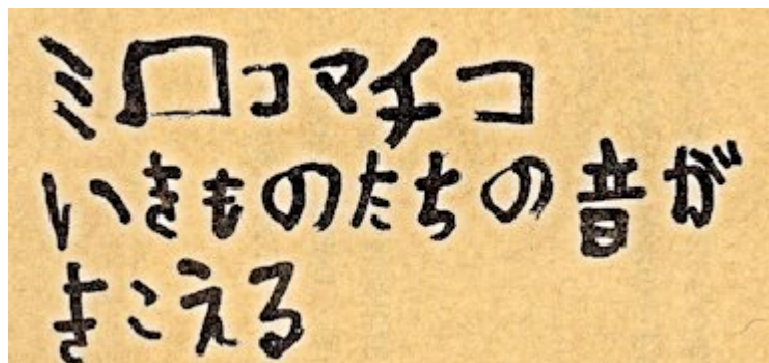
着物、帯、のれん、屏風、額絵、絵本など多岐にわたる

静岡市立芹沢鉦介美術館(静岡市駿河区登呂5-10) 電話054(282) 5522

一般420円 高大生250円 月曜日休館

庭園ゾーン 書院ゾーン 体験ゾーン 展示ゾーン

北九州市立小倉城庭園(北九州市小倉北区城内1-2) 電話093(582) 2747 会期中無休



今、話題の絵本作家、ミロコマチコがやってきた！

彗星のごとく登場、名だたる絵本賞を総ナメにしている作家・ミロコマチコの大展覧会！。

画面からほとばしる奔放な線、目の覚めるような鮮やかな色、色：ミロコマチコは、この世の生き物たちを力強く描いている。絵本作家として国内外で高く評価されるだけでなく、画家として個展を中心に多くの作品を発表し、天井絵や壁画などの大型作品やライブペインティング

など多方面で活躍するミロコマチコ。2014年には、伊勢丹クリスマスキャンペーンのメインビジュアルも手掛け、話題をさらった。本展では、最新作を含む絵本の原画をはじめ、絵画・立体作品など、ミロコマチコのすべてを見ることができ、貴重な展覧会となる。

メモ

◆ 7月8日
(土) ～ 9月3日

日(日)

佐野美術館（静岡県三島市中田町1-43）TEL 054-975-7278

一般・大学生 1000円
小・中・高校生 500円 ※8月1日(火)は入館料無料(創立者・佐野隆一翁生誕日)
木曜日休館

【特別展】没後50年記念

川端龍子 —超ド級の日本画—



大衆に訴える
作品作り

山種美術館では6月24日(土)～8月20日(日)まで、【特別展】没後50年記念 川端龍子 超ド級の日本画 を開催する。「健剛なる芸術」の創造を唱え、大衆に訴える作品を描き続けた日本画家・川端龍子(1885-1966)。

洋画から日本画への転向や院展脱退、絵画団体「青龍社」の樹立、規格外の大画面制作など、従来の枠組みを破るために挑戦を続けた。迫力に満ち、スケールの大きな龍子作品は、発表当時「昭和の狩野永徳」とも評されていた。このたび、山種美術館で

本展の
見どころ

は、龍子の没後50年を経たことを記念し、初期から晩年にかけての名だたる代表作を取り揃え、その画業を振り返る特別展を開催する。

1. 日本画家・川端龍子の初期から晩年にいたる代表作を一堂に！

2. 「会場芸術」と称された龍子作品の「超ド級」なスケールを体感できる展覧会！

3. 俳句と家庭をこよなく愛す、知られざる龍子像が伝わる作品を初公開！

メモ

◆ 6月24日
(月) ～ 8月20日

日(日)

山種美術館（東京都渋谷区広尾3-12-36）TEL 03-5777-8600
(ハローダイヤル) 一般 1200円 大高生900円 中学生以下無料 月曜日休館日(但し、7/17は開館、7/18(火)は休館)

特集

東京藝術大学創立130周年記念 チャレンジする東京藝大 ～感動を呼ぶ芸術～

2020に向け「オール東京藝大」で世界を牽引する芸術発信拠点へ



東京藝術大学（東京都台東区上野公園）は、本年10月4日で、創立130周年を迎えにあたり、このほど記念事業の内容が発表された。「チャレンジする東京藝大」をコンセプトに、様々な事業を展開する。

オール藝大 体制で

記者発表会には、澤和樹東京藝術大学学長、松下功東京藝術大学副学長、岡本美津子東京藝術大学副学長に、アンバサダーとしてヴァイオリニストの諏訪内晶子さん、日本画家で藝大OGの松井冬子さんも出席して盛り上げていた。本事業では、大学がこれまで培ってきた成果と精神

を発信するとともに、学生及び教職員、卒業生、保護者ら関係者を含めた「オール東京藝大」体制を構築する。



開する。
②「5大陸 アーツ・サミット」(ユーラシア大陸、北アメリカ大陸、南アメリカ大陸、オーストラリア大陸、ヨーロッパ) 在校生が制作したロゴマーク
③「GEIDAI 130 ARTS」プロジェクト
本学の教育研究の成果を国内外に広く発信、卒業生、在校生、教員、その他関係者が幅広く参画する、3つのプログラムを一年にわたって展開する。

今後のスペシャルプログラム

●「藝大」コレクション パンドラの箱が開いた！
第1期 7月11日(火)
第2期 8月6日(日)／8月11日(金)／9月10日(日)
東京藝術大学美術館本館展示室1・3・4

●「戦没学生のメッセージ」戦時下の東京音楽学校・東京美術学校
7月30日(日) 11:00～16:30 東京藝術大学堂吹奏堂 他

●シルクロード特別企画「素心伝心 クローン文化財 失われた刻の再生」
9月23日(土)～10月26日(木) 東京藝術大学美術館

●美術学部教員作品展
12月27日(水)～平成30年1月9日(火) 日本橋三越本店本館

●130周年記念メデイア・アート展示(仮称)
12月26日(月)～平成30年1月31日(火)

●130周年記念式典
10月10日(火) 東京藝術大学堂奏楽堂

●藝大茶会
10月7日(土)・8日(日)・14日(土)・21日(土)
東京藝術大学正木記念館 大石書室、大浦食堂、東京国立博物館応挙館 他

左から、岡本美津子（東京藝術大学副学長）、諏訪内晶子（ヴァイオリニスト）澤和樹（東京藝術大学学長）、松井冬子（日本画家）、松下功（東京藝術大学副学長）

さらに、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、新たな芸術文化創造の出発点として位置づけ、記念事業を通じて日本の芸術文化を世界へ広く発信させる。

主なプロジェクトは3つに分かれる。
①「NEXT GEIDAI TEN」プロジェクト
10年後のビジョンとして、東京藝大のあるべき姿を提示するとともに、そのためのアクションを展開

主なプロジェクト

2017年7月30日までの主な展覧会情報

美術館・博物館ガイド

東京都内

- 上野の森美術館 「片岡鶴太郎展 還暦紅」 7月2日まで Tel 03 3833 4191 一般1000円 無休
- 東京都美術館 「ボイマンス美術館所蔵 ブリュゲル「バベルの塔」展」 7月2日まで Tel 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1600円 月曜日休館
- 東京都写真美術館 「ダヤニータ・シン イン」の大きな家の美術館」 7月17日まで Tel 03 280 0099 一般800円 月曜日休館
- 出光美術館 「水墨の風 長谷川等伯と雪舟」 7月17日まで Tel 03 3400 8600 (ハローダイヤル) 一般1000円 月曜日休館
- 根津美術館 「はじめの古美術鑑賞 紙の装飾」 7月2日まで Tel 03 5777 2536 一般1100円 月曜日休館
- 講談社野間記念館 「竹内栖鳳と京都画壇展」 7月17日まで Tel 03 3945 0947 一般500円 月・火曜日休館
- 渋谷区立松濤美術館 「クエイ兄弟 フォント・ミュージアム」 7月23日まで Tel 03 3465 9421 一般1000円 月曜日休館
- サントリー美術館 「神の宝の玉手箱」 6月4日まで Tel 03 347 8600 一般1300円 火曜日休館
- 練馬区立美術館 「生誕110年記念 漆の画家 太齋春夫展」 7月14日まで Tel 03 3577 1821 一般300円 月曜日休館
- 世田谷美術館 「エリック・カール展」 7月2日まで Tel 03 577 8600 (ハローダイヤル) 一般1200円 月曜日休館

東京郊外

- 三鷹市美術ギャラリー 「色あせない風景 滝平二郎の世界展」 7月2日まで Tel 0420 790033 一般600円 月曜日休館
- 府中市美術館 「浅野竹二の木版世界」 7月2日まで Tel 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般400円 月曜日休館
- 東京富士美術館 「MAKI E・美の万華鏡展」 7月2日まで Tel 042 691 4511 一般800円 月曜日休館
- 鎌倉国宝館 「常磐山文庫名品展」 7月17日まで Tel 0467 220 753 一般400円 月曜日休館

関東南部

- 横浜都市発展記念館 「ようこそ！横浜地図ワールドへ」 7月2日まで Tel 045 663 2424 一般300円 月曜日休館
- そごう美術館 「没後20年 司馬遼太郎展」 7月9日まで Tel 045 65 5515 一般1000円 無休
- 県立神奈川近代文学館 「生誕120年 宇野千代展」 7月17日まで Tel 045 622 6666 一般400円 月曜日休館
- 佐野美術館 「競演！江戸の人気浮世絵師たち」 7月2日まで Tel 055 975 7278 一般1000円 木曜日休館
- MOA美術館 「美人画の系譜 江戸から近代まで」 7月18日まで Tel 0557 84 2511 一般1600円 木曜日休館

関東北部

- 国立歴史民族博物館 「見世物大博覧会 現代編」 7月17日まで Tel 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般420円 月曜日休館
- DIC川村記念美術館 「ヴォルス 路上から宇宙へ」 7月2日まで Tel 0120 49 8130 一般1300円 月曜日休館
- 古河歴史博物館 「近代医学のさががけ 河口家の人びと」 7月2日まで Tel 0280 22 5211 一般400円 6/22、23休館
- 足利市立美術館 「リアル(写真)のゆくえ」 7月30日まで Tel 0284 43 3131 一般700円 月曜日休館
- 栃木県立美術館 「まなざしの洋画史 近代ヨーロッパから現代日本まで」 7月2日まで Tel 028 634 1311 一般800円

*お出かけ時は再度ご確認ください。

ルネ・ラリックの生涯と出会う

■箱根ラリック美術館 (神奈川県足柄下郡箱根町仙石原186番1) 電話0460(84)2255 一般1500円、大学生・高校生・シニア(65歳以上)1300円、中学生・小学生800円年中無休

からくり人形な関係資料多数展示中

■江戸民具街道(神奈川県足柄上郡中井町久所418) 電話0465(81)5339 月曜日休館

箱根の景観と自慢のスウィーツを楽しむ

■箱根写真美術館 (神奈川県足柄下郡箱根町強羅1300 432) 電話0460(82)2717 火曜日休館 毎週土曜日は夕方5時まで営業

